

令和4年度 3学年「国語科」シラバス

学習の目標

目的や相手に応じ、調べたことなどについて、的確に話す能力、筋道を立てて話す能力、話の中心に気を付けて聞く能力、進行に沿って話し合う能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら話したり聞いたりしようとする態度を育てます。また、目的に応じ、中心となる語や文を捉えて読む能力を身に付けさせるとともに、読書の範囲を広げ、文字や語句について、辞書を利用することを通して調べようとする態度を育てます。

評価の観点

評価の観点	評価規準
知識・技能	日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。
思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもっている。
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えをもったりしながら、言葉がもつよさを感じようとしているとともに、楽しんで読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。

評価の方法

国語の学力は主に次のような方法で把握します。

- 授業態度 ○発言、発表 ○音読・朗読 ○単元テスト ○小テスト
○ワークシート ○作文 ○ノート ○提出物

学習計画

単元名	主な学習内容	家庭学習で取り組めること
<ul style="list-style-type: none"> ○きつつきの商売 ○国語辞典を使おう ○漢字の音と訓 ○もっと知りたい、友だちのこと ○言葉で遊ぼう「こまを楽しむ」 ○気持ちをこめて「来てください」 ○まいごのかぎ ○こそあど言葉を使いこなそう ○【じょうほう】引用するとき ○仕事のくふう、見つけたよ ○はじめて知ったことを知らせよう ○わたしと小鳥とすずと／夕日がせなかをおしてくる ○山小屋で三日間すごすなら ○ポスターを読もう ○へんとつくり ○ローマ字 ○ちいちゃんのかげおくり ○修飾語を使って書こう ○はんで意見をまとめよう ○すがたをかえる大豆 ○食べ物のひみつを教えます ○ことわざ・故事成語 ○漢字の意味 ○三年とうげ ○たから島のぼうけん ○詩のくふうを楽しもう ○カンジ-はかせの音訓かるた ○ありの行列 ○つたわる言葉で表そう ○これがわたしのお気に入り ○コンピュータのローマ字入力 ○わたしたちの学校じまん ○モチモチの木 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面の様子や違いに注意し、音読を工夫する。 ・国語辞典の使い方を知る。 ・漢字の音読み訓読みについて理解する。 ・必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容の中心を捉える。 ・「初め」「中」「終わり」の文章構成や段落内容を把握する。 ・気持ちが伝わるように手紙を書く。 ・文章を読んで感じたことを発表し合う。 ・こそあど言葉を使うことで、文をより簡潔に表現できるようになることを理解する。 ・引用のしかたや出典の示し方を理解する。 ・必要な事柄を調べたりインタビューしたりして、情報を集め報告書を書く。 ・図鑑や科学読み物を読んで、驚いたり感心したりしたことを発表する ・二つの詩を比べて読み、内容の組み立てが分かるように音読する。 ・グループで話し合い互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめ発表する。 ・ポスターを読んで感想や考えをもつ。 ・漢字のへん、つくりなどの構成について、知識をもつ。 ・日常使われているローマ字を読んだり書いたりする。 ・人物の行動、会話、情景などの表現に着目しながら読む。 ・修飾・被修飾の関係など、初歩的な構成を理解する。 ・司会などの役割を果たしながら話し合う。 ・段落相互の関係を考えながら、文章の内容を読み取る。 ・目的に合った事例を複数あげながら、説明の文章を書く。 ・ことわざや故事成語について本や辞典を使って調べる。 ・同じ発音でも、意味が違えば使う漢字も違うことを知る。 ・登場人物の気持ちや情景を想像する。 ・「初め」「中」「終わり」の組み立てを使い、物語の構成を考える。 ・様子が表れるように音読する。 ・3年生で習った漢字を読んだり書いたりする。 ・実験と考察に気を付けながら段落の内容を読む。 ・言葉を選びながら、相手に伝わる文章を書く。 ・興味のあることから話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして話題を紹介する文章を書く。 ・ローマ字入力で言葉を打つ。 ・話の中心や話す場面を意識して、グループで学校行事を紹介する。 ・登場人物の人柄や気持ちの変化を押さえて読む。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>年間を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音読 ・意味調べ ・漢字練習 </div> <ul style="list-style-type: none"> ㊦「きつつきの商売」 ㊦「こまを楽しむ」 ・手紙を書く。 ㊦「まいごのかぎ」 ・こそあど言葉を使った文作り ・インタビュー、発表の練習 ・図鑑や科学読み物を読む。 ㊦「わたしと小鳥とすずと」 「夕日がせなかをおしてくる」 ・発表の練習 ・漢字のへん、つくり調べ ・ローマ字の練習 ㊦「ちいちゃんのかげおくり」 ・修飾語を使った文作り ㊦「すがたをかえる大豆」 ・ことわざ、故事成語調べ ㊦「三年とうげ」 ・物語作り ㊦詩 ・漢字の復習 ㊦「ありの行列」 ・スピーチの練習 ・ローマ字の練習 ・発表の練習 ㊦「モチモチの木」

令和4年度 3学年「算数科」シラバス

学習の目標

算数的活動を通して、数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てるとともに、算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てます。
わり算、かけ算の筆算、円と球、三角形、小数、分数、重さなどについて学習します。

評価の観点

評価の観点	評価規準
知識・技能	数の概念とその表し方及び計算の意味を理解し、量、図形及び数量の関係についての理解の基礎となる経験を積み重ね、数量や図形についての感覚を豊かにしている。 加法及び減法の計算をしたり、形を構成したり、身の回りにある量の大きさを比べたり、簡単な絵や図などに表したりすることなどについての技能を身に付けている。
思考・判断・表現	ものの数に着目し、具体物や図などを用いて数の数え方や計算の仕方を考える力、ものの形に着目して特徴を捉えたり、具体的な操作を通して形の構成について考えたりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の大きさの比べ方を考える力、データの個数に着目して身の回りの事象の特徴を捉える力などを身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	数量や図形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

評価の方法

算数の学力は主に次のような方法で把握します。

- 授業態度 ○発言、発表 ○単元テスト ○小テスト
○ワークシート ○ドリル ○ノート ○提出物



学習計画

単元名	主な学習内容	家庭学習で取り組めること
<ul style="list-style-type: none"> ○九九を見なおそう ○時こくと時間の求め方を考えよう ○同じ数ずつ分けるときの計算を考えよう ○大きい数の筆算を考えよう ○長い長さをはかろう ○数をよく見て暗算で計算しよう ○わり算を考えよう ○10000 より大きい数を調べよう ○大きい数のかけ算のしかたを考えよう ○わり算や分数を考えよう ○まるい形を調べよう ○数の表し方やしくみを調べよう ○重さをはかって表そう ○分数を使った大きさの表し方を調べよう ○□を使って場面を式に表そう ○かけ算の筆算を考えよう ○三角形を調べよう ○わかりやすく整理して表そう ○そろばん ○考える力をのばそう ○3年のふくしゅう 	<ul style="list-style-type: none"> ・乗法の性質やきまりを理解する。 ・「秒」について知り、時刻や時間の計算方法を理解する。 ・除法の意味が分かり、除法を用いて問題を解決する。 ・筆算形式による 3～4 位数の加減計算の仕方について理解する。 ・長さの量感を獲得するとともに、対象や目的に合った単位や計器の選択ができる。 ・位数どうしの加、減法の暗算の仕方を理解する。 ・あまりのある除法を理解し、除法についての理解を深め、生活の場面で用いる。 ・一億までの整数について、その表し方や構成を理解し、数を用いる。 ・筆算形式による 2～3 位数×1 位数の乗法計算の仕方について理解する。 ・簡単な 2 位数÷1 位数=2 位数となる除法の計算ができる。 ・観察や作業を通じて円や球の構成要素を把握し、円や球の概念や性質を理解する。 ・はしたの数を表す小数の意味やしくみ、表し方について理解する。 ・重さの比較などを通して、重さの概念や測定、および単位について理解し、また重さに関する量感を養う。 ・分数のしくみを理解し、単位分数をもとにいろいろな数を表す。 ・未知の数を□とすることで、数量の関係を式に表し、□の数値を求める。 ・筆算形式による 2～3 位数に 2 位数をかける乗法計算のしかたについて理解する。 ・二等辺三角形や正三角形の概念や性質について理解する。 ・資料を分類整理して表や棒グラフに表したり、それらを読んだりする。 ・そろばんの使い方が分かり、簡単な加減計算を理解する。 ・図を用いて問題内容を整理し、考察する力を伸ばす。 ・今までに学習した内容の理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かけ算の復習をする。 ・日常生活で時刻を読む。 ・わり算の練習をする。 ・筆算の練習をする。 ・メジャーで長さを測る。 ・暗算の練習をする。 ・あまりのあるわり算の練習をする。 ・大きい数を書いたり、読んだりする。 ・筆算の練習をする。 ・わり算の筆算の練習をする。 ・コンパスで円を描く。 ・身の回りから小数をさがす。計算の練習をする。 ・はかりで測定する。 ・食べ物を切り分ける分数の計算練習をする。 ・計算の練習をする。 ・筆算の練習をする。 ・二等辺三角形、正三角形の作図をする。 ・表やグラフを書く。 ・そろばんで数を入れる ・図を見て立式する。 ・1年間の復習問題をする。



令和4年度 3学年「社会」シラバス

学習の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を養います。

自分たちの住んでいる地域や練馬区について、商店の仕事、農家の仕事、昔の暮らしと古い道具について学びます。また、地図記号や方位についても学習します。

評価の観点

評価の観点	評価規準
知識・技能	身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の様子の移り変わりについて、人々の生活との関連を踏まえて理解しているとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめている。
思考・判断・表現	地域における社会的事象の特色や相互の関連、意味を考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したり、考えたことや選択・判断したことを表現したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	地域における社会的事象について、地域社会に対する誇りと愛情をもつ地域社会の将来の担い手として、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。

評価の方法

社会の学力は主に次のような方法で把握します。

- 授業態度 ○発言、発表 ○単元テスト ○小テスト
○ワークシート ○ノート ○提出物

学習計画

単元名	主な学習内容
1 わたしたちのまち (1) 学校のまわりを歩いてみよう	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの住んでいる身近な地域の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物などを理解し、地域社会に対する誇りと愛情をもつ。 身近な地域の様子から学習問題を見だし、観察、調査して調べたことを絵地図や白地図などにまとめるとともに、場所による様子の違いや身近な地域の特色やよさを考え、適切に表現する。
(2) 練馬区の様子を調べよう	<ul style="list-style-type: none"> 練馬区の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設の場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物の場所と様子や、場所によって地域の様子には違いがあることを理解し、自分たちが日々生活している練馬区に対する誇りや愛情をもつ。 練馬区の様子から学習問題を見だし、観察・調査したり地図やその他の資料を活用したりして調べたことを、地図記号や方位を活用して白地図にまとめるとともに、場所による地域の様子、特色やよさを考えて、適切に表現する。
2 はたらく人とわたしたちの暮らし (1) 店ではたらく人の仕事	<ul style="list-style-type: none"> 地域には販売に携わる仕事があり、自分たちの生活を支えていることや、これらの仕事に見られる特色、他地域などとの関わりを理解するとともに、販売の仕事と自分たちの生活との関わりを考えようとする。さらに、見学や資料を活用するなどして具体的に調べたことをグラフや白地図、作品などにまとめるとともに、これらの仕事と自分たちの生活とのつながりについて考えたことを適切に表現する。
(2) 農家の仕事を調べよう	<ul style="list-style-type: none"> 地域には農作物の生産に関わる仕事があり、自分たちの生活を支えていることや、これらの仕事に見られる特色、他地域などとの関わりなどを理解するとともに、農家の仕事と自分たちの生活との関わりを考えようとする。さらに、見学や資料を活用するなどして具体的に調べたことをグラフや白地図、作品などにまとめるとともに、これらの仕事と自分たちの生活とのつながりについて考えたことを適切に表現する。
3 地いきの安全を守る (1) 火事からまちを守る	<ul style="list-style-type: none"> 消防署などの関係機関は、相互に連携して緊急に対処する体制をとっていること、地域の人々と協力して火災の防止に努めていることを理解し、自分も地域社会の一員として協力できることに取り組もうとする。 地域社会における火災防止の諸活動の様子から学習問題を見だし、調べたことを白地図や作品にまとめ、自分が地域社会の一員としてできることを考え、適切に表現する。
(2) 事故や事件からまちを守る	<ul style="list-style-type: none"> 警察署などの関係機関は地域の人々と協力して事故や事件の防止に努めており、相互に連携して緊急に対処する体制をとっていることを理解し、自分も地域社会の一員として協力できることに取り組もうとする。 地域社会における事故や事件の防止の諸活動の様子から学習問題を見だし、調べたことを白地図や作品にまとめ、自分が地域社会の一員としてできることを考え適切に表現する。
4 暮らしのうつりかわり かわる道具と暮らし	<ul style="list-style-type: none"> 古くから残る生活用具やそれらを使っていた頃の暮らしの様子から、地域の人々の生活の移り変わりや人々の願いを理解し、地域社会に対する誇りと愛情をもつ。 古い道具から学習問題を見だし、道具の使い方を教わったり、文化館などで昔の暮らしを調べたりして絵年表にまとめ、地域の人々の暮らしの変化や知恵について考えたことを表現する。

家庭学習でできること

- 食品の産地を調べる。 ○家の人と買い物に行き、店の工夫を見つける。
- 地域の年中行事に参加する。 ○古い道具や昔の暮らしについて家の人に聞く。

令和4年度 3学年「理科」シラバス

学習の目標

自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成することを目指します。

植物や昆虫の体のつくりや成長のようすを調べること、風やゴムの働き、太陽と地面の様子、太陽の光、ものの重さ、豆電球、磁石、音の伝わり方の大小について学びます。

評価の観点

評価の観点	評価規準
知識・技能	物の性質、風とゴムの力の働き、光と音の性質、磁石の性質、電気の回路、身の回りの生物及び太陽と地面の様子について理解しているとともに、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。
思考・判断・表現	物の性質、風とゴムの力の働き、光と音の性質、磁石の性質、電気の回路、身の回りの生物及び太陽と地面の様子について観察、実験などを行い、主に差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。
主体的に学習に取り組む態度	物の性質、風とゴムの力の働き、光と音の性質、磁石の性質、電気の回路、身の回りの生物及び太陽と地面の様子についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしているとともに、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

評価の方法

理科の学力は主に次のような方法で把握します。

- 授業態度 ○観察・実験中の技能 ○観察カード ○発言、発表 ○単元テスト
○小テスト ○ワークシート ○ノート ○提出物

学習計画

単元名	主な学習内容
1 しぜんのかんさつ	・生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあることを理解し、身の回りの生物の様子について追究する中で、差異点や共通点を基に、生物の姿についての問題を見だし、表現する。
2 植物の育ち方 [1]たねまき	・植物の育ち方には一定の順序があることを理解し、植物の育ち方について追究する中で差異点や共通点を基に、植物の成長のきまりについての問題を見だし、表現する。
3 こん虫の育ち方	・昆虫の育ち方には一定の順序があることや成虫の体は頭、胸及び腹からできていることを理解し、昆虫の育ち方について追究する中で、差異点や共通点を基に、昆虫の成長のきまりや体のつくりについての問題を見だし、表現する。
○植物の育ち方 [2]葉・くき・根	・植物の育ち方には一定の順序があることを理解し、植物の育ち方について追究する中で差異点や共通点を基に、植物の成長のきまりについての問題を見だし、表現する。
4 ゴムや風の方	・風の方で物を動かしたり、風の方の大きさを調節して動き方を変えたりして実験する。 ・ゴムの方で物を動かしたり、ゴムの方の大きさを調節して物の動き方を変えたりして実験する。 ・風とゴムの方で物が動く様子について追究する中で、差異点や共通点を基に、風とゴムの方の働きについての問題を見だし、表現する。
5 音のふしぎ	・物から音が出たり伝わったりするとき、物は震えていることや音の大きさが変わるとき物の震え方が変わることを実験を通して捉える。 ・音を出したときの震え方の様子について追究する中で、差異点や共通点を基に、音の性質についての問題を見だし、表現する。
○植物の育ち方 [3]花	・植物の育ち方には一定の順序があることを理解し、植物の育ち方について追究する中で差異点や共通点を基に、植物の成長のきまりについての問題を見だし、表現する。
6 動物のすみか	・生物は、その周辺の環境と関わって生きていることを理解し、差異点や共通点を基に、生物の姿についての問題を見だし、表現する。
7 植物の育ち方 [4]花がさいた後	・植物の育ち方には一定の順序があることを理解し、植物の育ち方について追究する中で差異点や共通点を基に、植物の成長のきまりについての問題を見だし、表現する。
8 地面のようすと太陽	・日陰は太陽の光を遮るとでき、日陰の位置は太陽の位置の変化によって変わることや地面は太陽によって暖められ、日なたと日陰では地面の暖かさや湿り気の違いがあることを理解する。 ・日なたと日陰の様子について追究する中で、差異点や共通点を基に、太陽と地面の様子との関係についての問題を見だし、表現する。
9 太陽の光	・日光は直進し、集めたり反射させたりできることや物に日光を当て、物の明るさや暖かさが変わることを実験を通して捉える。 ・光を当てたときの明るさや暖かさの様子について追究する中で、差異点や共通点を基に、光の性質についての問題を見だし、表現する。
10 電気の通り道	・電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方があることや電気を通す物と通さない物があることを捉える。 ・乾電池と豆電球などのつなぎ方と乾電池につないだ物の様子について追究する中で、差異点や共通点を基に、電気の回路についての問題を見だし、表現する。
11 じしゃくのふしぎ	・磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があることや磁石に近付けると磁石になる物があることを理解する。 ・磁石の異極は引き合い、同極は退け合うことを理解する。 ・磁石を身の回りの物に近付けたときの様子について追究する中で、差異点や共通点を基に、磁石の性質についての問題を見だし、表現する。
12 ものの重さ	・物は、形が変わっても重さは変わらないことや体積が同じでも重さは違うことがあることを理解する。 ・物の形や体積と重さとの関係について追究する中で、差異点や共通点を基に、物の性質についての問題を見だし、表現する。
○おもちゃショーを開こう！	・ゴムや風の方、音のふしぎ、電気の通り道、じしゃくのふしぎについて、学んだことを、ものづくりに生かしておもちゃを作る。

家庭学習でできること

- ヒマワリの種をまいて育てる。
- モンシロチョウやアゲハチョウ、バッタを飼って観察する。
- 学習した働きや仕組みが利用されている道具を探してみる。